





給食にホタテ生産地応援

焼津市内 小中学生 特別メニューに舌鼓

焼津市は、北海道産ホタテを使ったメニューを学校給食として、市内全小中学校22校の児童生徒に提供する。東京電力福島第一原発で発生する処理水の放出に伴い、輸出や流通で影響を受けている水産業者を支援する。初日の12日は小川小（同市小川）など小学校5校で、児童らがホタテ入りマーボー春雨を味わった。

小川小では、2年生の児童たちが特別メニューを目の前に表情を崩した。ホタテを初めて食べたという池ヶ谷莉咲さん（8）は「すごくおいしくて、もっとたくさん食べたいと思った」と語った。

市では1月と2月に学校給食で各校1回ずつ、ホタテを使ったメニューを提供する。2月はちゃんぽんめんスープの予定。

（焼津支局・福田雄一）

給食のホタテメニューを食べる児童たち＝焼津市小川の川小川小写真の一部を加工しています

記事を読んで、問いに答えましょう。

①写真中央の児童は、どんなことを思いながらホタテ入りマーボー春雨を味わっているのでしょうか。

（例）・おいしいから、たくさん食べたいな。

・もっと応援したいから、他のメニューも食べたいな。 など

②水産物を応援するために、ホタテ以外で給食メニューにどんな水産物を取り入れてほしいですか。

（例）・カニ ・エビ ・ワカメ など

③焼津で北海道のホタテを使った給食メニューが提供される理由を50字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

（例）東京電力福島第一原発で発生する処理水放出に伴い、輸出や流通で影響を受けている水産業者を支援するため。（50字）

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 中村 都（静岡市立千代田小学校 教諭）

（中学校／総合）